

新入生同士初めて交流

樽商大でオリエンテーション

28日から始まる後期授業から一部の科目の対面授業を再開する小樽商科大は、新型コロナウイルスの影響でこれまでキャンパスに通うことができなかった新入生向けのオリエンテーションを今月、4回に分けて行っている。

例年は4月に行い、授業内容や大学生活に関する説明を行う。ただ今春は新型コロナウイルス禍で休校となりオリエンテーションも中止。5月上旬から始まった前期授業はオンラインで開講され、新入生は一度も大学に通えないまま、後期授業を迎えることになっていた。

このため新入生からは「同学年とのつながりがなくて不安」「対面で説明を受けたい」などの声が上がったという、同大学生支援課が後期授業開始前のオリエンテーションを企画した。

「密」を避けるため17、25日までに4日間日程を設け新入生531人のうち希望者を分けて実施。18日は約90人が参加し、職員が授業内容を説明、先輩たちはサークル紹介などをした。

キャンパスツアーも行われ、入学後初めて構内を巡り、同学年と直接交流した1年の佐藤来未さん(18)は「入りたいサークルやゼミの話などができた。後期から徐々に対面の授業が再開するのが楽しみ」と、ようやく始まるキャンパス生活を心待ちにしていた。



オリエンテーションに訪れ、同学年の学生と初めて交流した新入生たち

「時代の先頭に」
9月卒業生激励
学位記授与式

小樽商科大の9月卒業生の学位記授与式が24日、同大で行われ、学部生23人が学びやを菓立った。

9月卒業は、海外留学などで3月に卒業できなかった学生が対象。この日の授与式には23人のうち11人が出席し、穴沢真学長から学位記を受け取った。穴沢学長は新型コロナウイルス禍での世界の変容に触れ「ポストコロナ時代の先頭に立って活躍してほしい」と激励した。

今年には新型コロナウイルス感染拡大に伴い、前期が全科目オンライン授業だったため、卒業生は大学生活最後にキャンパスに通えなかった。昨年9月から約半年間、ベトナムに留学していた池田ルシィ理沙さん(22)は「留学期間が3カ月ほど短くなり、大学でも友人と過ごせなかったのは心残りだ」とコロナの影響を話していた。



マスク姿で学位記を受け取る小樽商大の卒業生

「時代の先頭に」
9月卒業生激励
学位記授与式

小樽商科大の9月卒業生の学位記授与式が24日、同大で行われ、学部生23人が学びやを菓立った。

9月卒業は、海外留学などで3月に卒業できなかった学生が対象。この日の授与式には23人のうち11人が出席し、穴沢真学長から学位記を受け取った。穴沢学長は新型コロナウイルス禍での世界の変容に触れ「ポストコロナ時代の先頭に立って活躍してほしい」と激励した。

今年には新型コロナウイルス感染拡大に伴い、前期が全科目オンライン授業だったため、卒業生は大学生活最後にキャンパスに通えなかった。昨年9月から約半年間、ベトナムに留学していた池田ルシィ理沙さん(22)は「留学期間が3カ月ほど短くなり、大学でも友人と過ごせなかったのは心残りだ」とコロナの影響を話していた。

(日野夏美)